

▼バルネチール錠・▼細粒 [内]

【重要度】★★★ 【一般製剤名】スルトプリド塩酸塩 sultopride hydrochloride 【分類】ベンズアミド系抗精神病剤

【単位】▼50mg・▼100mg・▼200mg/錠, ▼50%細粒

【常用量】300～600mg/日 [最大1800mg/日]

【用法】分割投与

【透析患者への投与方法】設定されていない (1)

【その他の報告】50～100mg/日への減量が必要と思われる (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎障害のある患者では高い血中濃度が持続するおそれがあるため慎重投与 (1)

【その他の報告】尿中排泄率が高く、高度腎障害患者では 50～100mg/日への減量が必要と思われる (5) 高齢者では腎機能が低下していることが多いため副作用 [過剰鎮静、錐体外路症状等] の発現に注意し、少量から投与を開始するなど慎重に投与 (1)

【特徴】スルピリド誘導体ベンズアミド系抗精神病剤で、躁病、統合失調症の興奮及び幻覚・妄想状態に適用される。ドパミン D1 受容体は遮断せず、D2 受容体を選択的に遮断する。パーキンソン病、レビー小体型認知症患者に禁忌。

【主な副作用・毒性】悪性症候群、麻痺性イレウス、痙攣、遅発性ジスキネジア、QT 延長、血球減少、静脈血栓症、パーキンソン症候群、頻脈、肝障害、眼の調節障害、そう痒、女性型乳房、消化器症状、眠気・傾眠、不眠、不安・焦燥、うつ状態など多数。

【F】80% (1)

【tmax】1hr (1) 1.5hr (Kobari T, et al: Xenobiotica 15: 605-13, 1985)

【代謝】ヒトの尿中代謝物はピロリジン環の酸化代謝物オキソスルトプリド (ピロリジン環の α 位の酸化体) のみ (1) オキソスルトプリドには活性がない (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 88% [po, 72hr まで] (1) オキソスルトプリドとして尿中に 4% 回収 (1)

【CL】腎 CL 460mL/min (1)

【t1/2】3hr (1) 3.6hr (Kobari T, et al: Xenobiotica 15: 605-13, 1985)

【蛋白結合率】10～15% (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】390.93

【透析性】資料なし (1) 少なくとも透析 CL は高いと思われるが除去効率は不明 (5)

【相互作用】プロベネシド併用で腎 CL が部分的に低下する [ラット] (Kamizono A, et al: J Pharm Sci 82: 1259-61, 1993)

【更新日】20201014

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。